

イチリン
I c h i - R i n (苺 稟)
(新 潟 県 新 発 田 市)

～いちご(越後姫)の加工を農福連携で～



Ichi-Rin(苺稟)



いちご(越後姫)



心潤う芳醇いちごをお届けします



ドライいちご



経 緯

- 経営規模を拡大しなくても利益を上げる方法を模索。
- いちごは、収穫期の終盤に価格が下がるため、付加価値を付けることで売上げを伸ばすことを考え、いちごを加工した「ドライいちご」。
- 平成30年2月、農林水産大臣から6次産業化の事業認定。
- 平成30年4月、直売所・加工場をオープン。
- 加工場は、農福連携の取組を視野に入れ、ドライいちごのパッキングやラベル貼り等の作業を障がい者が働きやすいように配置等を考え、流れ作業ができるように設計。



取 組

- ハウス1棟でいちごを栽培。2割を生食用、8割を加工品として販売し、直売所は通年営業。
- 「ドライいちご」に取り組むことで、小規模経営でも高い収益性を目指す。
- どのように農福連携を始めたらいいかを思考している時に、新潟県拠点主催の「農福連携推進意見交換会(平成30年3月開催)」に出席。
- 意見交換会を契機に、平成30年6月から同一市内の福祉事業所と農福連携の取組を開始。



今後の展望と課題

- 障がい者雇用を人手不足を補うためだけの一時的な労働力として考えるのではなく、一緒に農業や加工に携わりながら、Ichi-Rinスタッフの一員としての活躍を期待。
- メイン商品「ドライいちご」の加工を一緒に行いながら、農福連携を続け、短時間の作業であっても新入社員を育てるように、今後もお互いに経験を積み重ねながら進めたい。